

TDA風流夏セミナー 西陣の町家で語る 「布の力」

- 会期：2011年7月23日(土)
- 会場：京都西陣の町家 古武邸
- 主催：日本テキスタイルデザイン協会



7月23日(土)京都西陣の町家 古武邸にてセミナーが開催され、会員11名の参加がありました。町家の奥には風情のある座敷庭があり、その縁に接した広い離れ座敷で行われました。

古武博司氏は、京都1200年市街地の変化と京町家・暮らしと文化についてのお話、板東正氏は、現代に生きる暖簾・意匠と歴史のお話をして頂き、気分はすっかり古の時空へタイムスリップしてしまいました。古武さん手作りの歴史地図や町家の模型などを使いながら、応仁文明の乱を経て元禄期に完成していく町家の歴史を教えてくださいました。

また、町家内の見学では、床の間や美しい透かし彫りの欄間なども見せていただきました。

「西陣の町家 古武」は文化的催し会場として使われており、美術展やコンサートや講演会場として、またJICAの研修会場などと幅広く活用されています。

TDA会員の板東さんは暖簾研究者として、より磨きの掛かったセミナーでした。

新しく取材された画像も加わり、見応えのある写真を披露していただきました。

板東さんは「暖簾」は平和の布であると言われています。

人と布は歴史や文化を背景に共に生きてきた、暖簾は人と同じ目線で寄り添ってきたという思いを持ちつつ「布の力」を信じ、また未来に向かう手がかりになればいいなと思います。

西陣の町家でのセミナーは、歴史・文化とその時代に生きた人々のロマンが感じられた楽しいひとときでした。

次回 はよはずのお部屋から市松文様の襖に変わる頃に訪れてみたいものです。

(文責 神沢)

THE 72nd TOKYO INTERNATIONAL

Gift Show

AUTUMN 2011



- 会期：2011年9月6日(火)～9日(金)
- 会場：東京ビッグサイト：全展示ホール
- 主催：(株) ビジネスガイド社

日本最大パーソナルギフト&生活雑貨の国際見本市

あの東日本大震災から半年「今こそ心と心の絆を高めるギフトを送りましょう」を合言葉に、ギフトショーから日本経済再生の道を切り開きましょうのテーマの基にはじまる。

ギフトショーは、最新のデザインが集まる、クオリティーの高い見本市として諸外国からも高い評価を受け、日本全国のみならず、世界各国から約20万人の来場者がある国内最大の見本市と言えます。

日本経済の再生・復興に向けて「新しい商いの場」として、ギフトショーは単一の業界展示会では成しえない、業種の垣根を超えた新たなビジネスの出会いがある価値ある見本市と言えます。

今回の出展社数は、2,150社(内海外22ヶ国と地域から301社)中国からの減少が目立つ!

国内は多くの出展希望があり多くの企業が出展待ちと聞く。